

平成27年度第3回長井市振興審議会 議事録

開催日時：平成27年10月16日(金) 15時00分～16時50分

開催場所：長井市役所3階 第一委員会室

出席者：20名(委員15名、事務局5名)

■振興審議会委員 加藤弘二委員、勝見裕子委員、荒生正徳委員、渡部秀一委員、板垣洋一委員、横山寛道委員、高橋郁子委員、北川忠明委員、勝見英一朗委員、齋藤道郎委員、梅津雄治委員、小林美和子委員、梅村律子委員、中井晃委員、長沼真知子委員
(出席15名、欠席3名)

■事務局 遠藤健司副市長、鈴木一則総務参事
総合政策課 竹田利弘課長、桐生芳弘主幹、今野透係長

傍聴者：0名

【次第】

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 報告
・長井市人口ビジョン及び長井市総合戦略について(資料1)
- 4 協議
(1)第五次総合計画の進行管理について
①進行管理のしくみ(資料2)
②26年度事業の行政評価の方法(資料3)
③行政評価の結果(資料4)
④今後のスケジュール(資料5)
(2)その他
- 5 その他
- 6 閉会

【議事録】

- 1 開会
- 2 あいさつ

○北川忠明委員(会長)

先月30日に長井市人口ビジョンと長井市総合戦略が市のホームページで公開されました。このことについては、前回の審議会で委員の皆様から多くのご意見をいただきましてありがとうございました。皆様のご意見をとりまとめさせていただき、先日内谷市長に答申いたしました。

地方創生については結婚しやすい環境や子育てしやすい環境を作っていくということが大事になってきますが、女性にばかり頑張れと言っているのではないかという指摘が前回の審議会でもありました。男性目線になりがちだという指摘はごもっともだと感じています。結婚に関しては男性の魅力をもっとアップさせるようなことも確かに必要だと思います。

先日、ノーベル賞を受賞した方は地方大学の出身者であり、地方大学が人材を育てていることが証明されたかと思います。地方を軽視するのではなく、地方をもっと元気にしていかなければならないということです。長井市もこれまで満足度の高いまちづくりをしてこられたので、今後も地方創生を着実に進めていけるものと考えています。

本日は、第五次総合計画の進行管理についてご議論いただきたいと存じますので、どうぞよろしくお

願ひ致します。

3 報 告

・長井市人口ビジョン及び長井市総合戦略について

資料1及び「長井市人口ビジョン」「長井市総合戦略」に基づき事務局から説明を行った。

4 協 議 [議長＝北川会長]

(1)第五次総合計画の進行管理について

①進行管理のしくみ(資料2)

②26 年度事業の行政評価の方法(資料3)

③行政評価の結果(資料4)

資料2・3・4に基づき事務局から説明を行った。

(北川会長)

第五次総合計画では、それぞれの主要事業ごとに成果指標を設けておりました。この成果指標の進捗状況等をもとに評価結果が示されていますので分かりやすい形になっていると思います。

本日は、評価結果へのご意見と評価の方法についてのご意見をいただき、協議してまいります。

ただいま事務局から説明があった内容について、ご意見やご質問はありますか。

(委員)

評価については非常に丁寧にいただいたと思います。その上で、評価結果のB（継続・現状維持）とC（見直し・改善）の区別について教えてください。

例えば、B（継続・現状維持）の事業でも「評価の内容」として、業務改善の提案が記載されているものがあるようです。そうであれば、C（見直し・改善）という評価結果にしてもいいのかなと感じました。

(事務局)

C（見直し・改善）と判定された事業は通常の業務改善に留まらず、実施体制を見直すなどのより強い改善が必要と判断されたものです。B（継続・現状維持）とされた事業は、現状の方向性のままで進めていくけれど、その中で改善もしていくものです。

(委員)

評価はA（拡充・重点化）であれば高く、C（見直し・改善）であれば低いという問題ではないと思います。C（見直し・改善）であってもマイナス面ではないわけです。それがP D C Aサイクルなのですが、全体的に評価AとBが多く、Cが少ないというのはちょっとどうなのかと感じました。

(北川会長)

1次評価と2次評価を実施されたわけですが、各課では成果や実績に基づいて1次評価を行い、2次評価では施策の方向性がどうあるべきかという視点で評価をなされたということだと思います。この視点の違いがあるということについての説明があったほうが良いかも知れません。

(事務局)

会長がおっしゃるように、2次評価は長井市の施策について今後の進め方はどうしていくのか、という視点で協議し、「今までの計画のままで進めていく」又は「予定どおり進んでいないため強く改善していく」などの判定を実施したという内容です。

初めての行政評価方法で実施したものですので、委員の皆様からご意見いただき、評価方法を改善していきたいと考えています。

(委員)

今回の行政評価の結果は、来年度の予算にどのように反映されるのでしょうか。

(事務局)

2次評価の結果が、予算の増減と全て直結するわけではありません。ただし、全体の予算配分の中でどの分野を重点化すべきかどうかという際には参考としていきます。実際の予算査定については、これまでどおり一つ一つの事業を見て実施していきます。

(委員)

主要事業を構成する一つ一つの事務事業についてどう評価されているかという点が市民生活にも直結する視点だと思いますので、そこも含めて公表してはいかがでしょうか。今後、評価結果を公表していく範囲を検討する際には考慮していただければと思います。

(事務局)

公表の方法について、今回は主要事業を単位としたいと考えています。総合計画の進行管理の面からは施策全体の方向性を示していく必要があるためです。ただし、次回以降の公表方法については改めて検討していきます。

(委員)

今回の評価について、各主要事業の行政評価シートがあれば自分に求められている分野の事業の状況を確認して意見を述べることもできると思います。評価について委員としてどんな役割が求められているのかを確認したいです。

(事務局)

行政評価シート全てを配布することは可能ですが、その数は膨大な量になってしまい、内容を確認いただく時間がかかり協議に支障をきたすことから、今回は一覧の形で評価結果の全体について説明し、ご意見をいただく形にさせていただきました。

(委員)

国民健康保険の事業の関係で、お聞きしたいことがあります。国保税を払えない家庭があると思いますが、そういった家庭への対応は事業に含まれているのでしょうか。

(事務局)

国民健康保険事業のさらに詳細な部分は、今回の評価では把握できないものです。

(委員)

市民が生き生きと暮らせるようなまちとなるには、そういった家庭への対応も必要であり、そのような取り組みへの評価はどのようにしているのかが気になったのです。

(事務局)

国保税の徴収に関しては、税務課が所管しています。お支払いをいただけない方については、相談に来ていただいて分割して納付していただくなどの対応をしています。それでも状況が厳しくて納付できない方は福祉あんしん課で困窮者対策を講じている状況です。

(委員)

評価結果を行政の内部でしっかりと活用していただくことが主目的だと思いますので、審議会 で評価シートを全部見なくてもいいのだらうと思います。

(委員)

先ほどの私の質問については、私も全ての評価シートを確認したいわけではなくて、委員として任命いただいているのが会社経営者としての専門性を期待されてのことであれば、そういう視点で見るべきなのかなという点を確認するために質問させていただきました。

(北川会長)

総合計画を策定した後にはどのように進行管理をしていくのかを昨年度に議論したわけですが、その時に私も調べたところ、成果指標を定めてその状況を確認していくような進行管理を行う自治体はあまりありませんでした。振興審議会では、総合計画全体の進行管理のために行政評価結果を確認し、詳細な事務的なことは事務局を中心とする行政に任せるということで良いと考えています。

(委員)

1次評価の「1、2、3」と2次評価の「A、B、C」が混同して勘違いしてしまいます。評価結果を市民に公表するのであれば、表記の仕方を変える必要があります。

(事務局)

表記方法について修正を検討していきます。

(委員)

行政でもPDCAサイクルを回していくのは評価できる動きですが、民間企業であれば改善すべき項目が出てくるほうが健全です。今回で言えば、C（見直し・改善）がもっと出てくるような方向性があつたほうが良いのではないかと思います。今回は実施後なので変更できないと思いますが、民間企業であれば改善すべき点を出していくために評価活動をしていますので、今後の参考としてください。よりC（見直し・改善）をうまく使いこなしてほしいと思います。

(委員)

主要事業が並んでいます、予算規模もそれぞれ違うので一覧表をみただけではどこの事業が重要かわからないです。第五次総合計画が進んでいく中で、D（縮小）にしても良いじゃないかとためらわずに言えるような雰囲気をつくるのが大事ではないでしょうか。それぞれの事業の担当毎に1年間目標に向かって取り組まれてきたと思いますし、予算のウェイトは自分のところにかけてもらいたいと考えるものだと思いますが、お金は無尽蔵にあるわけではないので、無駄は省き、大きな視点から見てウェイトを考えて予算の割り振りを見直していくことが必要だと思います。そのためには評価でD（縮小）を付けることもためらわないことが大事かと思いました。

(事務局)

現在の第五次総合計画はまずは前期5年間の計画であり、その中で進捗や社会情勢の変化に基づき、次期計画の策定の際には優先順位等を調整していくことになります。ただ、今のところはいずれも長井市のまちづくりには重要な事業だと考えていますので、ウェイトは一律とし

て捉えています。

(委員)

評価の結果で大切なのは今後どうしていくのかという未来への展望の視点だと思いますし、2次評価の「評価の内容」に書かれているコメントを読むとどのような観点で改善していけばいいかといったことがわかります。結果として先にAやBといった記号が出てくるのでわかりにくいと思います。この部分は「評価の結果」などではなく「未来への展望」と記載するなどの修正をしてはどうでしょうか。

なお、空き家も増えてきて緊急性もあると思うので、空き家対策もより重点化していく必要があると思います。また、市民相談の評価の中に自殺対策に関しての記載があまりないのですが、長井市は自殺率の水準が高くなっているので、そうなる前の福祉的な対応を重点的に考えてほしいと思います。

(事務局)

表記方法については、修正を検討していきます。自殺に関しては、人口を母数とするので長井市くらいの人口規模では一人出してしまうと自殺率が大きく上昇する傾向にあります。その点を考慮しても県内では高い割合になっているので、相談体制の強化や健康課や福祉あんしん課との連携を進めていきます。

(委員)

表記方法は、「A、B、C、D」という表記が紛らわしいため、「拡充」であれば頭文字を取って「K」とするなどの対応も考えられると思います。

(北川会長)

委員の皆さんからの活発なご議論をいただきましてありがとうございます。総合計画の進捗管理を形式的にはやっても実質的にしっかり行っている自治体は少ないと感じますが、行政評価によって市民も進捗状況をチェックできるのは大事なことです。今回の行政評価により、第五次総合計画にとっては初年度のPDCAサイクルを回したことになります。評価に関してまだ不十分なところは、今後も皆さんからの意見をもとに改善していければと思います。

④今後のスケジュール(資料5)

資料5に基づき事務局から説明を行った。

(北川会長)

今後のスケジュールについて、ご質問やご意見はございますか。ご意見等がないようですので、総合計画の進捗管理については以上とさせていただきます。

(2)その他

(北川会長)

その他の協議事項について、何かございますか。

(委員)

冒頭で総合戦略について報告いただきましたが、合計特殊出生率を向上させるためには「婚活サポートの充実」が大事ですが、これまでの6年間のやり方ではうまくいかなかったのでダ

メだと思います。婚活サポート委員会でやるのは無理があるので、市を挙げてこれから具体的にどうしていけばいいかを出してほしいと思います。

(事務局)

次回の婚活サポート委員会で総合戦略の内容を説明する予定です。そして、サポーターの皆さんにまずは話をお聞きして、行政に求めることも出させていただいて、その後市役所内部でも今後の婚活事業のあり方について検討していきます。

(北川会長)

その他の協議事項について、何かございますか。(なし)

それではこれで協議は終了いたします。ご協力いただきまして、ありがとうございました。

5 その他

今回の開催について、事務局から説明を行いました。

6 閉 会

(16:50)

以上